

☑=対象(記述がないものは誰でも可) ☒=定員
☒=参加費または入場料(記述がないものは無料)
☑=持ち物 ☒=申し込み ☒=当日、直接会場へ(事前申し込み不要)

☆おいでください

■**鈴虫交換会・頒布会** 8月7日(日)午前8～10時、赤熊広場(富士見2-19) ☒鈴虫幼虫または鈴虫を入れる容器かビニール袋 ☒☒ 渡邊☒ 090-2178-0626(午後10時まで)

☒☒☒ 鈴虫交換しましょう。鈴虫ご持参ください。無料頒布も行います。

■**ピアッティコンサート・「春の音絵巻」**(3月23日の延期公演) 9月3日(土)午後6時30分～8時30分(6時開場)、響の森福川市民ホール ☒2千円(高校生以下は千円) ☒☒ 9月2日(金)までに電話で ※当日券もあります。 藤盛☒ 725-4858(午後9時まで)

☒☒☒ ソプラノ独唱にピアノ連弾、朗読を音楽に乗せてお届けします。

☆いきいきサークル 会員・団員募集

●**上尾あすまミニバスケットボールクラブ** 毎週火・金曜日午後5～7時、東町小学校他 ☒小学生 月額1,500円(入会金千円) 永井☒ 772-7647(午後6時以降) ☒☒☒ バスケットを通じて心と体を成長させてみませんか。無料体験あり

●**ひらひらの会**(平家物語を読む) 毎月第2金曜日午前10時10分～正午、平方公民館 月額1,500円 佐藤☒ 774-6127(午後7～9時) ☒☒☒ 時代背景や都の街並みを想像しながら若い研究者と楽しみませんか

●**高校日本史を学ぶ会** 毎週日曜日午前10時～正午ごろ、平方公民館 1回300円(会場・資料費) 関口☒ 090-3592-1899(午後9時まで) ☒☒☒ 参加者募集中。教科書に沿って学びます。詳しくは電話で。

●**原市ダンス同好会** 毎月3回日曜日①初級/午後7時～同50分②一般/午後8時～9時30分、原市公民館 月額①2千円②4千円(①②共に入会金千円) 山田☒ 721-2283 ☒☒☒ 8月7・21日(日)午後7時30分から説明会と見学会を行います。

●**はやみ暮友会** 毎週日曜日午前10時～正午、西上尾第二団地集会所 月額1,250円(入会金千円) 黒木☒ 725-4750 ☒☒☒ 講義後指導者と指名組合せ対局。午後2時まで自由対局できます

●**ララピアチェレ**(女声コーラス) 毎月2～3回月曜日午後1～3時、東大宮コミュニティセンター他 月額2～3千円 椎橋☒ 776-6978(午後8時まで) ☒☒☒ 少数で楽しく童謡・愛唱歌を歌っています。見学歓迎。

●**大谷太極拳** 毎月4回水曜日午後0時30分～3時、大谷公民館 月額3千円(入会金千円) 町田☒ 781-3618(午前中または午後5時以降) ☒☒☒ 誰でもできる!気軽に入れる!初心者大歓迎です。

●**旬の会**(絵手紙) 毎月第1・3金曜日午後1～3時、大石公民館 月額千円(入会金千円) 浅田☒ 725-8483 ☒☒☒ ヘタでいい、ヘタがいい。みんなで楽しく描きませんか。

●**マハロの会**(英会話) 毎月4回水曜日午前9時30分～11時30分、上尾公民館 ☒☒☒ 初心者 月額4千円 竹内☒ 771-4291(午後8時まで) ☒☒☒ 初心者大歓迎。オーストラリア人の先生が日常会話を楽しく指導。

●**手編みサークル** 毎月第2・4金曜日午後1時30分～3時30分、大石公民館 月額1,500円(入会金1,500円) 君塚☒ 781-5406(午後6時以降) ☒☒☒ 一人一人のレベルに合わせて、先生が優しく指導して下さいます。

●**舞踊教室藤真流** ①松の会/毎月3回月曜日午後2～4時②梅の会/毎月3回月曜日午前10時～正午③あゆみの会/毎月3回水曜日午前10時～正午、文化センター 月額3千円 中山☒ 772-9664 ☒☒☒ 舞踊の美しさを一緒に踊りませんか。

●**山びこ会**(登山) ①集会/毎月第2・4火曜日午後7時15分～、コミュニティセンター②登山/毎月1回土曜日または日曜日 年額4千円 青柳☒ 775-3635(午後8時まで) ☒☒☒ ハイキングや山登りを行い、自然を楽しんでいます。

●**上尾デッサン会**(裸婦クロッキー) 毎月第2日曜日午後1時30分～4時、コミュニティセンター 6カ月7千円(入会金千円) 星野☒ 786-3651 ☒☒☒ 講師はいません。自由に楽しく描いています。募集人数5人です。

をしていられるグループの皆さんからそば打ち、茶道、料理などを教えてもらったり、市の体育指導員や県障害者スポーツ協会指導員から軽い運動の指導を受けたりしています。

みんなと会えるのも楽しみの一つです。社会科学見学を実施していて、おとしは上野動物園に、昨年は品川水族館に行きました。切符は、団体割引以外は個人で買

ます。これも社会訓練です。近年では、学級を見守っている親が高齢化しつつあるという問題もあります。このため、さらに多くのボランティアの協力が求められています。

青年学級の皆さんは、働く場を持つています。彼らはとても素直な性格です。これからの将来も、それぞれが豊かな人生を過ごしてくれることを願ってやみません。

大谷公民館まつりの2日目となった5月22日は、天候にも恵まれ会場は多くの人であふれていました。

そんな中、体育室から『きよしのズンドコ節』が聞こえてきます。知的障害青年学級の皆さんの出番です。1年間の活動報告をした後で、民謡の発表をしています。この日は他に『東京音頭』と『炭鉱節』を踊りました。この発表のために、月に一度の集まりの最後に少しずつ練習をしてきました。東日本大震災の影響で公民館が使えない日もあり練習不足でしたが、楽しく踊れたようです。昨年の発表ではミュージックベルを演奏しました。

大谷公民館では、知的障害があ

る働く青年たちの生涯学習の場として、平成12年から「知的障害青年学級」を開いています。年間計画を立て、いろいろな学習やスポーツをしています。公民館活動



たこ焼き作りに挑戦

知的障害青年学級

まぎがど
特派員
だより



福岡 京子さん
(大石地区)

市民のひろば

ボランティアで
民謡の指導・公演

スポット
ライト
～人・仲間～

「たくさんの人に、もっと民謡を楽しんでほしいですね。そう語るのには、上尾市民謡民舞指導者協議会の会長を務める岩崎賢一(雅号・神山翠玉)さんです。同協議会は、平成4年に指導者同士の交流と民謡の普及を目的に結成されました。

主な活動は、民謡の指導や、福祉施設への訪問などのボランティアです。高齢者施設を訪問する時は、入所者に一緒に歌ってもらえるようにマイクを持って歩くそうです。『今まであまり笑わなかった人が笑うようになりました。ありがとうございます』と施設の職員にお礼を言われた時はとても

話で交流しました。東北の民謡を演奏したので、たくさんの人と一緒に歌うことができました」

より多くの人に民謡に親しんでもらうために不可欠なのが、会員同士での勉強です。会員はそれぞれに教室や弟子を持つ。民謡の先生ばかりですが、所属する流派はさまざまです。互いが謙虚な

謙虚な姿勢で習練を続ける

姿勢で学び合うことが大切だそうです。

「今後は民謡にとどまらず、多くの人が知っていきたくたいです」と意欲を見せてくれた会員の皆さん。常に発展しようという心意気で、これからもより多くの人を楽しませてくれることでしょう。



旧県立騎西高校に避難している人々と民謡で交流する会員



上尾市民謡民舞指導者協議会
岩崎 賢一さん(五番町)

うれしかったです」と活動の喜びを話してくれました。演奏をただ聞くのではなく、一緒に楽しんでもらう気持ちでやっているそうです。

高齢者施設だけではなく、地域の行事やいきいきクラブの催しなどを訪れることもあります。「6月には、旧県立騎西高校に向向き、福島県からの避難者の人たちと民